



平成22年 4 月26日

各 位

会 社 名 クラリオン株式会社
代 表 者 名 取締役社長 泉 龍彦
(コード番号 6796 東証・大証各第一部)
問 合 せ 先
責任者役職名 取締役 常務執行役員
広 報 室 担 当
氏 名 吉 峰 徹 郎
T E L (048)601-3700 (代表)
当社の親会社 株式会社日立製作所
代 表 者 名 代表執行役 執行役社長
中西 宏明
(コード番号 6501 東・大・名・福・札)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年 5 月11日の決算発表時に公表いたしました平成22年 3 月期 (平成21年 4 月 1 日 ~ 平成22年 3 月31日) の業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

併せて、個別業績における特別損失の計上につきましてお知らせいたします。

記

1 . 平成22年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成21年 4 月 1 日 ~ 平成22年 3 月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	168,000	100	1,400	3,100	10円99銭
今回発表予想 (B)	174,500	600	50	500	1円77銭
増 減 額 (B - A)	6,500	500	1,450	3,600	
増 減 率 (%)	3.9	500.0			
(ご参考) 前期実績 (平成21年 3 月期)	181,554	12,449	14,619	19,978	70円85銭

2. 平成22年3月期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	125,000	1,400	3,100	5,100	18円09銭
今回発表予想(B)	131,500	1,650	2,300	2,500	8円87銭
増減額(B-A)	6,500	250	800	2,600	
増減率(%)	5.2				
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	97,819	7,298	8,416	21,644	76円72銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 修正の理由(連結・個別)

売上高につきましては、各国での自動車購入支援策により車両販売が回復を見せるなか、米州ではOEM市場でのナビゲーションの販売が好調に推移したこと及び国内OEM市場では、カーディーラーのオプション施策による販売の増加があり、連結、個別とも当初計画を上回る見込となりました。

損益面につきましては、増収による固定費回収額の増加及び事業構造改革の取り組みによる固定費削減が進んだこと等により、連結営業利益は当初計画を上回る見込となりました。個別における営業利益は、下半期では黒字体質への転換がはかられてきておりますが、上半期の損失額が大きく、当初計画を下回る見込となりました。

経常利益につきましては、キャッシュ・フローの改善に努めました結果、有利子負債を圧縮し金融費用が減少したこと及び為替差益の計上等により、連結、個別とも当初計画を上回る見込となりました。

当期純利益につきましては、開発費の回収等による特別利益の計上、事業構造改革費用の発生が計画を下回ったこと及び繰延税金資産の見直しによる税金費用の減少等により、連結、個別とも当初計画を上回る見込となりました。

4. 個別における特別損失の計上について

海外における一部の連結子会社の業績悪化を踏まえ、個別における投資額に対して15億円の投資損失引当金繰入額を特別損失として計上いたします。

なお、本件につきましては、当初計画に織り込み済みであり、業績予想に与える影響は軽微であります。

以上